

進路だより

令和7年4月14日(月)
No.1
雁が音中 進路指導部

○進路を選択するために

1年間、この進路だよりを中心にご家庭へ進路に関する情報を提供していきます。進路だよりは生徒への連絡と保護者への連絡を兼ねていますので、必ず目を通していただきたいと思います。

皆さんは「進路」というと、まず「受験」という言葉を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。もちろん、多くの人が「受験」に立ち向かうことになります。しかし、それだけではありません。進路を考えるということは、自分の未来を考えるということです。自分がどんな人間になりたいか、将来どうなっていたいかを考えることです。卒業後、高校へ進学するという道もあれば、就職して社会に出るという道もあります。単に「高校や企業を選ぶ」という作業ではなく、「自分の力や個性を見極め、それを生かすことのできる道を探る」という取り組みにしてほしいと思います。「何ができるか」「何をしたいか」「どのような力を付けたいか」そして、「その力をどう活かして、どんな大人になりたいか」などを考えながら、進路選択を「幸せに生きるための人生の選択」という大きな視野で捉え、考えてほしいと思います。「受験」「勉強」だけにとらわれず、未来の自分の姿を思い浮かべながら、前向きに進路を考えていきましょう。

○親子で進路について話し合う時間をつくりましょう

1学期は進路の方向性を定め、これからの生き方について考えを深める時期です。ぜひ、次のような話題をご家庭で、そして親子で機会あるごとに話し合ってくださいようお願いします。

- ① 将来の職業（仕事）に関する夢や目標は何か。具体的にはどんな職業に就きたいか。
- ② その職業（仕事）に就くために、これからどんな進路を歩んでいったらよいか。
- ③ 保護者として、子どもに、これからどんな進路を歩んでほしいと思っているか。（どんな大人になってほしいか。どんな仕事に就いてほしいか。）
- ④ 中学卒業後の進路計画はどうか。（進学希望なのか就職希望なのか、進学して何を学びたいのか。）
- ⑤ 進学を希望する人は、今は「どの学校に進学したいか」よりも、「何を学びたいか」。

進路を決定するまでには、まだ時間があります。しかし、自分の進む道を1日や2日で決めることはできないと思います。多くの生徒が公立高校や私立高校に進学していくことは事実ですが、それ以外の選択肢もたくさん増えてきています。また、公立高校や私立高校も、より多様な学び方ができるようになって変わっています。そんな時代に、何の情報も得ず、何の話し合いもせずに進路を選択することは、デメリットしかありません。また、大切な進路だからこそ、そこには大きな不安が伴います。その不安も含めて、今、どんなことを考えているのかを家庭の中で共有する時間が増えれば増えるほど、最終的に自信をもって進路決定ができると思います。1学期が進路選択の土台をつくる上でとても大切です。早い段階から家庭で話し合っていただきたいと思います。

※ご不明な点や、ご質問等がありましたら、担任または進路担当の山本までご連絡ください。なお、体験入学の保険等については学年総会で説明する予定です。日程等変更がありましたらきずなネットやホームページでお知らせします。